

# 小学校・第4学年・音楽科・日本の音階で旋律をつくろう①

## 育成を目指す資質・能力

我が国の音楽の旋律や音階などの特徴に気付くとともに、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けながら、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ることができるようにし、我が国の音楽に親しむ。

## ICT活用のポイント

音のつながりを様々に試し、聴覚と視覚から音の組合せの特徴を捉え、自らの表現に生かすようにする。

## 事例の概要

日本の音階について気付く

日本の音階でつくられた我が国の音楽を聴き、旋律や音階などの特徴に気付く。

リズムをつくる

プログラミングソフト「scratch」のプロジェクトを用いて旋律をつくる。

5つの音を使って  
リズムに旋律を付ける

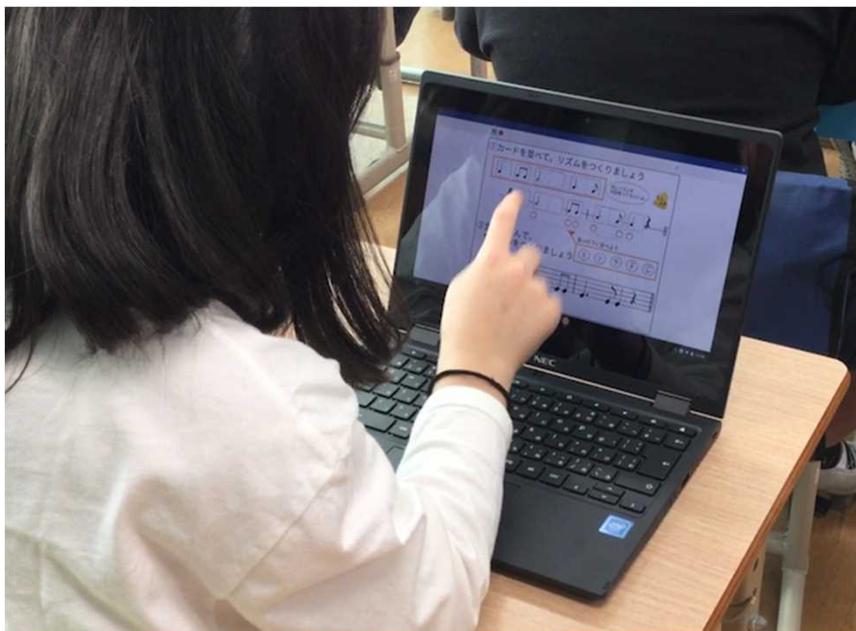
- ① 音符の書かれたカードを並べてリズムをつくる。
- ② つくったリズムに合わせて「ミソラドレ」の5音音階から音を選んで試しながら、即興的に音を組み合わせるで旋律をつくる。

友達のつくった旋律と  
つなげて演奏する

友達のつくった旋律とつなげてリコーダーや鍵盤ハーモニカで演奏して、つくった音楽を聴き合う。

# 小学校・第4学年・音楽科・日本の音階で旋律をつくろう②

## 【事例におけるICT活用の場面 1】



- プログラミングソフト「scratch」のプロジェクトを用い、まずカードを並べてリズムをつくる。
  - 次に、つくったリズムに合わせて「ミソラドレ」の5音音階から音を選んで試しながら、即興的に音を組み合わせて旋律をつくる。
- ✓ 楽譜の読み書きに不安があっても、音で確かめながら音楽をつくっていくことができるという利点がある。
- その利点を生かし、「音を組み合わせる←→聴いて確かめる」を繰り返し、音で確かめながら試行錯誤を重ねられるようにすることが大切。

## 【事例におけるICT活用の場面 2】



- 一人一人がつくった旋律のデータを教師のICT機器に送信し、クラス全体でお互いの作品を聴き合い、それを参考にしながら自分の旋律をよりよいものにしていく。
  - 友達と自分のつくった旋律のつなげ方を、scratchを使って、音で聴きながら確かめる。
- ✓ 自分たちのつくった旋律を音と音符：聴覚と視覚で確かめながら、その特徴をより具体的に捉えることができるという利点がある。
- よりよく工夫した旋律を、実際に自分たちで演奏することで、そのよさなどをより実感できるようにすることが大切。

【活用したソフトや機能】 scratch (ビジュアル・プログラミングソフト)